

概況

〔5月～7月の動き〕

弱い動きが続いている。

生産活動は一進一退が続く。乗用車の販売台数（7月軽自動車を含む）は3カ月ぶりに前年比減少し、大型小売店の総販売額（6月全店ベース）は3カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（6月）も前年比4カ月連続で減少するなど、消費税率引き上げの影響により個人消費を中心に弱含んでいる。公共工事（6月保証対象請負総額）は2カ月ぶりに前年を上回ったが、輸出額（6月細島港）は17カ月ぶりに前年比減少。有効求人倍率（6月：0.97倍）は前月比上昇し、雇用環境は、着実に持ち直している。

県内経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動により、最終需要面を中心に、弱い動きが続いている。

（黒木）